



7/7 Hirado City Photo News 平戸の和牛が全国の舞台へ



平戸中央家畜市場で、10月に鹿児島で開かれる第12回全国和牛能力共進会に向けた、長崎県代表牛選考会が行われました。共進会は5年に1度開催され、和牛のオリンピックとも言われている大会です。選考会では、種牛の部に出場する14頭が選出され、内7頭は平戸市の生産者が出品した牛が選ばれました。

表彰式で、市内の生産者で代表牛を生産した平山義雄さんが「長崎和牛の名声を全国にとどろかせるよう、日本一を目指す」と決意表明しました。

7/6 Hirado City Photo News 戦没者の遺徳を偲んで



平戸文化センターで、令和4年度平戸市戦没者追悼式が行われ、遺族や来賓など約100人が参列しました。

式典では、遺族を代表して中野地区遺族会の村山吉治さんと田平地区遺族会の濱村哲夫さんがご霊前に献花を行い、平戸市連合遺族会の太田正喜会長が追悼のことばを述べました。参列者の皆さんもご霊前に献花し、祖国のために尊い犠牲となった2,500人あまりの平戸市出身戦没者の遺徳を偲ぶとともに、平和への思いを新たにしました。

7/3 Hirado City Photo News 地域に伝わる話を音楽劇で



ふれあいセンターの大ホールで音楽劇「根獅子の涙の不知火」が開催されました。この劇は、「根獅子の里」に伝わるキリシタン禁令の殉教者「おろくにんさま」の話をもとに、東京オペラ協会代表石多エドワードさんが脚本化、作曲しました。

劇では、昨年10月から練習を重ねてきたという地元の根獅子小学校の児童や市内の女性コーラスグループ「ひまわり」の皆さんが出演。元気の歌声と踊りを披露し、約370人が集まった会場は感動に包まれました。

6/23 Hirado City Photo News オランダの文化を学ぶ



志々伎小学校と根獅子小学校で国際交流員のパコ・セクレーブさんが、オランダの文化について授業を行いました。

パコさんは授業で、「オランダは海より低い土地で堤防で守られている」とオランダの地理や文化、国際交流員の仕事について説明しました。オランダに関する15問のクイズでは、子どもたちが問題に○か×で回答し、正解するたびに飛び跳ねて喜んでいました。質問コーナーでも、子どもたちから次々に質問が飛び出し、活発な時間となりました。

7/12 Hirado City Photo News プロの熱戦が平戸で



プロ野球独立リーグ「ヤマエ久野九州アジアリーグ」に所属する「福岡北九州フェニックス」のホームゲームが、平戸市総合運動公園「赤坂野球場」で行われました。「福岡北九州フェニックス」は福岡県北九州市に拠点を置くチームで、今年3月には平戸市でキャンプを行いました。

火の国サラマングーズ（熊本県）を対戦相手に迎えた3連戦は、1日目のルーカス選手のホームランで勢いに乗った福岡北九州フェニックスが2勝1敗で勝ち越しました。

7/9 Hirado City Photo News 田平に伝わる伝説を後世へ



田平町民センターで、「第35回がわっぱ祭」が開催されました。このお祭は、田平町に伝わるがわっぱの言い伝えの伝承と、夏休みを前に子どもたちの水難事故防止を祈願して、同祭伝承会が開催しています。

4年ぶりにパレードが開催され、田平町内の小学生から募集した絵やポスターの展示・表彰のほか、小学生が片足立ちで綱を引っ張りあう「がわっぱ相撲」が3年ぶりに行われました。1分を越す熱戦もあり、会場は大いに盛り上がりしました。

7/6 Hirado City Photo News オンラインで異文化交流



猶興館高校、北松農業高校で姉妹都市であるオランダノールトワイク市の学校とのオンライン交流授業が行われました。

猶興館高校での授業では、生徒が英語で自己紹介した後、それぞれの高校生活や文化を紹介。ノールトワイク市レーウェンホルスト中高等学校の生徒が、校内をライブ中継しながら案内すると、参加した生徒からは驚きの声が上がりました。生徒は、刺身や弓道などの日本文化を英語で紹介しました。9月には平戸高校でも実施予定です。

7/4 Hirado City Photo News 犯罪をなくし明るい社会へ



毎年7月に展開される「社会を明るくする運動」にともない、パレードが行われました。この運動は、犯罪や非行の防止とあやまちを犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くことを目的としています。

パレードに先立ち、平戸市役所で平戸・松浦保護司会平戸分区分の太田正喜会長が黒田市長に総理大臣メッセージを読み上げました。その後、保護司会の皆さんは、バナーや旗を手に市街地を回り、活動をPRしました。